

# 平成 29 年度 施策評価表

施策 (章)	第 8 章『行財政運営』
-----------	--------------

まちづくりの目標	効率的・効果的な行財政運営により総合計画を進めます				
分野別計画・指針	所沢市人口ビジョン、所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略、所沢市公共施設等総合管理計画、所沢市第6次行政改革大綱『行政経営』有言実行宣言』、第2次埼玉県西部地域まちづくり構想計画(ダイアプラン)、所沢市定員管理計画、所沢市特定事業主行動計画《第3次》、所沢市ICT 推進アクションプラン2015-2018、中長期財政計画、所沢市収納対策基本方針				
予算額	平成29年度当初予算	96,940 百万円中	10,709 百万円	構成率	11.0 %

基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針					
◆ 効率的・効果的な行政運営の推進					
◆ 市有財産の有効活用と適正管理					
◆ 計画と評価の連動による効果的な資源配分の推進					
◆ 適正規模の予算編成					
◆ 市政情報の共有化と市民参加の拡充					
◆ 職員の意識改革による行政の効率化とスリム化の推進					
◆ PDCAサイクルの着実な実行と進捗状況の管理					

基本構想で掲げた「市の課題・方向性」への取り組み状況に対する振り返り					
○行政経営推進委員会で第5次行政改革大綱の検証を行い第6次行政改革大綱の初年度の取組につなげた。					
○大規模事業の予定を考慮しつつ、中長期的な視点による予算編成を行った。					
○無作為抽出等の手法により幅広い層の市民参加を進めることができた。					
○全職員を対象とした人事評価制度を本格実施し、本人評価や面談における改善を通し人材育成をさらに重視した運用を行った。					
○行政評価の結果が次年度以降への改善につながるよう評価表の見直しなどを行った。					

基本構想で掲げた「まちづくりの目標の実現に向けた主な方針」の実行にあたって、特に力を入れていくこと。					
○第5次所沢市総合計画後期基本計画の効果的推進と併せ、本計画の総括とそれを踏まえて第6次所沢市総合計画基本構想及び前期基本計画の素案作りを進める。					
○収納率の向上を図るため、滞納整理の進行管理を徹底し、滞納事案を迅速に処理し収入未済額を圧縮する。					
○財政の柔軟性を確保するために、既存事業の見直しや事業実施時期の調整などを進める。					
○行政経営推進委員会の意見を伺いながら第6次所沢市行政改革大綱初年度(H28)の検証を行うとともに、行動計画表に定めた実施目標の実現に向け改革改善を推進する。					
○新たな情報発信手段に注目し、その活用を検討していく。					

評価日	H29. 7. 19	記入者職氏名	経営企画部経営企画担当参事	鈴木 哲也
-----	------------	--------	---------------	-------

指標の達成状況	節	目標指標	単位	〈H25〉	H28年度	H28年度	H29年度	将来目標
				現状値	実績	目標値	目標値	(H30)
第1節 行政経営		総合計画に掲げた目標指標の達成率	%	89	94.5	100	100	100
		行政改革大綱『行政経営』有言実行宣言』に掲げた目標の達成率	%	66.7 (H24)	未確定	70.0	80.0	90.0
		窓口サービスへの市民の満足度	%	97	99.7	100	100	100
		相互利用施設利用者数	人	505,447	511,353	508,000	509,000	510,000
		仕事に「やりがい」を感じる職員の割合	%	-	77.7	80	80	80
第2節 財政運営		経常収支比率	%	94.0	96.0	94.0%以下	94.0%以下	94.0%以下
		実質公債費比率	%	3	1.6	6.0%以下	6.0%以下	6.0%以下
第3節 情報の共有と市民参加		市ホームページの年間アクセス件数	千件	10,790	19,359	10,940	10,990	11,040
		市の情報発信に対する満足度	%	54	61.2	60	62	64
		市民参加のしくみの認知度	%	55.9	55.5	現状値以上	現状値以上	現状値以上

第1節	行政経営	限られた資源を有効活用しながら、戦略的かつ自立(自律)的な行政経営を行うまち			
基本方針	8-1-1 総合計画の実現に向けた計画行政の推進				
	8-1-2 行政経営の考え方に立った改革の継続				
	8-1-3 自治体間の連携の推進				
	8-1-4 組織体制の整備・充実				
	8-1-5 ICTを効率的に活用した市民サービスの向上				
関係所属	企画総務課、経営企画課、IT推進課、文書行政課、職員課、契約課、工事検査課、管財課、営繕課 ほか				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		756人	33.1%	23位	3位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第6次総合計画策定に向けて、他自治体の計画策定における総括・評価の手法等の調査・分析を行った。</li> <li>○第5次行政改革大綱の計画期間(H23~H27)の実績を取りまとめ行政経営推進委員会に報告し意見を伺った。</li> <li>○弁護士を任期付職員に採用し、行政執行上の諸課題に関する法律相談や法務研修体制等を強化、充実した。</li> <li>○岩手県大槌町に職員を長期派遣し被災地復興支援を継続的に進めた。また、国、県等との人事交流により連携強化等を図った。</li> <li>○情報セキュリティポリシー等の周知・徹底のため、情報セキュリティ監査を実施した。</li> </ul> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「総合計画に掲げた目標指標の達成率」は未達成であるものの、前年度93.4%から1.1ポイント上昇しており各取組が着実に推進されているものと考えられる。</li> <li>○「窓口サービスへの市民の満足度」では目標値の100%に対し99.7%でほぼ市民の要求水準に達していると思われる。</li> <li>○「仕事に「やりがい」を感じる職員の割合」では、30歳代前半までの職員の数値が低く、年齢層が高くなるにつれ上昇している傾向があり、「やりがい」は担う職責や裁量の範囲に連動するものと考えられる。また、入庁後の年数が短い能力開発期において、自分の適正を十分に掴みきれず業務に取り組んでいる職員も少なくないためと考えられる。</li> </ul>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第5次所沢市総合計画後期基本計画の効果的推進と併せ、本計画の総括とそれを踏まえて第6次所沢市総合計画基本構想及び前期基本計画の素案作りを進める。</li> <li>○行政経営推進委員会で第6次所沢市行政改革大綱初年度(H28)の検証を行うとともに、行動計画表に定めた実施目標の実現に向け改革改善を推進する。</li> <li>○人事評価制度を適正に運用し、能力・実績に基づいた人事管理と人材育成、面談を活用した風通しの良い組織作りを行う。</li> <li>○継続して情報セキュリティ監査を実施し、情報セキュリティ強化に向けた対策を実施していく。</li> </ul> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「総合計画に掲げた目標指標の達成率」は引き続き各取組を着実に推進していく。</li> <li>○「窓口サービスへの市民の満足度」では引き続き市民の立場に立ち心のこもった親切的な対応を徹底する。</li> <li>○「仕事に「やりがい」を感じる職員の割合」向上のため、人事評価制度を改良改善しながらより効果的な運用に努め、職員の意欲と能力の向上につなげていくとともに、これまで以上に風通しのよい組織風土、働きやすい職場環境づくりを進めていく。</li> </ul>					
特に力を入れる事務事業	第6次所沢市総合計画策定事業	行政経営推進事業			
評価日	H29.7.19	記入者職氏名	経営企画部次長 粕谷 信由 経営企画部経営企画担当参事 鈴木 哲也 総務部次長 富田 一成		

第2節	財政運営	歳入の確保と適正な歳出によって、健全な財政運営を行うまち			
基本方針	8-2-1 計画的な財政運営				
	8-2-2 財源の確保				
	8-2-3 受益と負担の適正化				
	8-2-4 財務の透明性の確保				
関係所属	経営企画課、財政課、管財課、工事検査課、市民税課、資産税課、収税課、出納室、監査事務局				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		866人	37.9%	15位	1位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中長期的な視点による予算編成を行った。</li> <li>○財源確保策の一環として、基金の債券による運用を開始した。</li> <li>○市有地の有効活用として、未利用地(宮本町)を売却し財源確保を図った。</li> <li>○財政のツボ、財政トークスなどを発行するとともに、「市の仕事報告会」の場で財政状況を説明するなど、財務情報の公表に努めた。</li> <li>○ページ口座振替や納付書付督促状の導入など納税環境を整備し、収納率の向上を図った。</li> <li>○県職員の派遣を受け、未整理事案などの解決に向けたグループを組織するなど徴収体制の強化を図り、収入未済額の削減に取り組んだ。</li> </ul> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経常一般財源である各種交付金や地方交付税等が、前年よりマイナスとなったことが経常収支比率を上昇させた。</li> </ul>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○財政の柔軟性を確保するために、既存事業の見直しや事業実施時期の調整などを進める。</li> <li>○自動音声電話催告システムの活用やページ収納の導入により、現年課税分の徴収強化を図る。</li> <li>○滞納整理の進行管理を徹底し滞納事案を迅速に処理することで、収入未済額の圧縮を図り、収納率向上に努める。</li> </ul> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経常収支比率を改善するため、経常経費を削減するとともに収納率の向上に努めていく。</li> </ul>					
特に力を入れる事務事業	予算編成・執行管理事務	収納率向上対策事業(自動音声電話催告システム事業)		市有財産活用事業	
評価日	H29. 7. 19	記入者職氏名	財務部次長 加藤 孝之 財務部収税担当参事 関口 裕教		

第3節	情報の共有と市民参加	わかりやすい情報発信により市と市民が情報共有し、お互いを尊重して対話のできるまち			
基本方針	8-3-1 市政情報の共有の推進				
	8-3-2 市民参加の推進				
関係所属	経営企画課、広報課、市民相談課				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		839人	36.7%	20位	2位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな情報発信手段として、所沢駅構内に、各所属における事業を紹介するコーナーとしてチラシラックを設置し、情報提供の拡充を図った。</li> <li>○広報紙において、より読みやすい紙面と「読んでうれしい広報紙」を目指しリニューアルを行い、その一環として、市内事業者が市民等に商品を幅広くPRできる機会を設け市内産業の振興を図るとともに、プレゼントクイズへの応募を通して、広報紙に対するご意見等を広く聴取するため、プレゼント企画を開始した。</li> <li>○市HPに掲載している会議録等の公開ページを審議会ごとに検索できるよう改善するなど、わかりやすい公表に努めた。</li> <li>○市を取り巻く状況や方針を市民団体等へ説明して市政への理解を深めてもらうとともに、意見を聴取して市政へ反映させるために「市政懇談会」を開催した。また、率先した活動を行っている市民団体や、先進的な取組を行っている事業所等の現場に市長が訪問し、その活動成果等を広く市民に紹介する「市長の“こんにちは訪問”」を行った。</li> </ul> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「市民参加のしくみの認知度」で目標値にわずかに及ばなかったが、前年度53.5%から2ポイント上昇しており認知は進んでいるものとする。</li> </ul>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな情報発信手段に注目し、その活用を検討していく。</li> <li>○情報公開、個人情報保護及び会議の公開等について周知し、制度への理解をさらに深めてもらうとともに、情報公開の推進や個人情報の適正な取扱いに努める。</li> <li>○様々な市民の意見、市民団体・事業所等の先進的な取組を把握して市政に反映させるとともに、広く市民に紹介していく。</li> </ul> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「市民参加のしくみの認知度」では各審議会等の無作為抽出による委員公募をさらに進めるとともに、H28年度からの新たな取組「市の仕事報告会」を引き続き充実させるなど市民参加のしくみの周知に努めていく。</li> </ul>					
特に力を入れる事務事業	情報公開制度推進事業	ホームページ運用事業	市長の“こんにちは訪問”事業		
評価日	H29.7.19	記入者職氏名	経営企画部次長 粕谷 信由 経営企画部経営企画担当参事 鈴木 哲也 市民部次長 川上 一人		